

准教授

池口 功晃

■ 学歴

1995年 慶応義塾大学商学部商学科卒業

2013年 久留米大学大学院比較文化研究科後期博士課程単位取得満期退学

■ 学位

2019年 博士（経済学）

■ 研究分野

1. 観光経済学
2. 経済地理学
3. 観光ビジネス・地域活性化

■ 研究キーワード

1. 産業連関分析・商圈分析
2. 観光政策
3. まちづくり

■ 研究課題

観光を通じた地域経済活性化に関する研究は、観光地の「魅力」がその核心であると捉えたものが多く、観光資源の魅力をいかに高めるかということに焦点が当てられてきた。しかし、近年の急速な高速交通網の発達に伴い、観光地の「魅力」は否応なく相対化されつつある。この認識のもと、①観光行動を消費者行動と捉えた消費行動分析、②観光地間の競合関係の分析、③産業連関表を通じた観光の経済分析など、主として3つのテーマを設定し、観光による地域経済の計量的分析および評価をおこなっている。

■ 担当授業科目

1. 日本経済入門（前期）（観光文化学科） 選択
2. 国際経済入門（前期）（観光文化学科・英語学科） 選択
3. 観光関連法規（前期）（観光文化学科） 選択
4. 国内旅行実務（前期）（観光文化学科） 選択
5. 専門演習Ⅰ・Ⅱ（前期・後期）（観光文化学科） 必修
6. 卒業研究（通年） 必修
7. 地域観光資源開発論（後期）（観光文化学科） 選択
8. 地域活性化演習（後期）（観光文化学科） 必修
9. ツーリズム演習（後期）（観光文化学科） 必修
10. ビジネスファイナンス（後期）（観光文化学科） 選択

■ 授業を行う上で工夫した事項

※ 助教・助手については、実習・演習等の指導を行う上で工夫した事項

1.	授業科目名【日本経済入門】 経済学系の科目は金利、株価、貿易、財政、税などマクロ経済学の基礎的理解が必須である。そこで、1回～7回までの授業ではマクロ経済学の基礎について図や計算による演習をおこない知識の定着を図っている。また、8回以降では戦後の日本経済（GHQの占領下～高度経済成長期～石油ショック～バブル経済の発生と崩壊～不良債権問題～アベノミクス）について説明している。
2.	授業科目名【地域観光資源開発論】 九州各県および山口県における地方自治体の観光の取り組みについて、学生がグループに分かれて実地・文献調査をおこない、観光振興上の課題の発見と新しい観光のあり方について議論・考察する機会を設けている。
3.	授業科目名【地域活性化演習】 地域活性化の重要な担い手の一つである企業に着目し、企業と学生の共同作業を通じて一定の成果を生み出すことを目的としている。具体的には、企業等の選定と課題の発見～共同作業の提案～成果発表に至る過程でアクティブラーニングを実施している。
4.	授業科目名【ビジネスファイナンス】 ビジネスではいわゆる数字（例.売上、原価、利益など）を読めることが大切である。本授業ではさまざまな業種の財務諸表を扱い、企業財務の分析手法について詳しく説明している。

■ 学会における活動

	加入時期	所属学会等の名称	役職名等（任期）
1.	2008年4月～現在に至る	日本観光研究学会	
2.	2008年4月～現在に至る	日本地理学会	
3.	2012年4月～現在に至る	観光学術学会	設立発起人
4.	2018年4月～現在に至る	日本企業経営学会	理事
5.	2021年4月～現在に至る	東アジア企業経営学会	

■ 研究業績等に関する事項（2023年度）

	発行又は発表の年月	著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
（著書）					
1.	2024年2月	『地域産業の経営革新と流通・マーケティング戦略』	共著	千倉書房	①地方創生には、多様な資源の認識と地域ごとに付加価値の高い産業集積や企業、団体、商品、サービスの育成が急務である。本書は第Ⅰ部ものづくり産業、第Ⅱ部食品関連産業 第Ⅲ部観光関連産業の三部で構成されており、地方創生に関わる種々なテーマを扱っている。

					②編著者名 西田安慶,岡本純,他 13 名 ③担当部分：第 14 章 大分県中津市における料亭の伝統と経営革新—日本料理・筑紫亭を事例に— (pp.263～275), 総頁数：p.303 ④A5 判
(学術論文)					
1.	2024年2月	「訪日観光マーケティング戦略における潜在的リスクに関する研究—ライリーの小売引力モデルを援用して—」	単著	『東亜企業経営研究』第3号	商圏・マーケティング分析などの分野で幅広く応用されているライリーの小売引力モデルを援用し、訪日外客数の多いアジア 11 各国・地域からの訪日外客数を対象に、訪日観光マーケティング戦略における潜在的リスクを計量的に把握し、その考察をおこなった。
(学会発表)					
1.	2024年2月	「産業連関分析を通じた地域観光政策の策定に関する一考察—北九州市を事例として—」	単独発表	一般社団法人地域デザイン学会九州・沖縄地域部会第 14 回研究会(於 別府大学)	北九州市を事例に、同市が公表している産業連関表と他の政令指定都市産業連関表における影響力係数や感応度係数などの分析指標の比較を通じて、北九州市の観光政策について考察をおこなった。

■ 社会における活動

	任 期 期 間 等	団体・委員会等の名称 (内 容)	役 職 名 等
1.	平成 25 年 9 月～現在に至る	「輝こう！あまがせ・支援大使」(大分県日田市天瀬町「天瀬公民館まちづくり事業」)	観光振興に関する助言・指導
2.	平成 27 年 7 月～現在に至る	宇佐市まち・ひと・しごと創生有識者会議 審議委員	副委員長
3.	平成 28 年 8 月～現在に至る	津久見市まちづくり推進事業審査委員	副委員長
4.	平成 30 年 9 月～現在に至る	日田市天瀬農業公園検討委員会	会長

■ 学内における活動等（役職、委員、学生支援など）

任 期	会議・委員会等の名称	役 職 名 等
-----	------------	---------

	期 間 等	(内 容)	
1.	2019年4月～2020年3月	学生委員会	
2.	2020年4月～2021年3月	教務委員会	副委員長
3.	2021年4月～現在に至る	教務委員会	